

2021年6月23日

## 株主様からの事前質問への回答について（一部）

株主様より事前にいただきましたご質問に関しまして回答を掲載いたします。  
その他の事前質問につきましては、本総会中に回答申し上げます。

- ① 未適用の会計基準等として収益認識に関する会計基準を記載し、それを適用した場合の影響額をなぜ決算短信に記載していないのか、影響額の算定状況を教えてもらいたい。

（回答）

本年5月12日に開示した決算短信では、未適用の会計基準等に関する記載は必須でなかったことから記載しておりませんでした。未適用の収益認識に関する会計基準を適用した場合の影響額につきましては、会計監査人と協議を重ねているところですが、影響額は概ね軽微なものにとどまると認識しております。

- ② 本年4月1日から収益認識に関する会計基準が適用となっているが、当社の主な商流となっている業者販売について収益認識基準に変更が生じて業績に大きな影響があるのではないかと考えている。現状と今後について説明してもらいたい。

（回答）

現状では新たな収益認識に関する会計基準を適用しておりますが、収益認識基準に関する変更点に関するご説明は差し控えさせていただきます。今後の影響の見通しにつきましては、会計監査人と協議を重ねているところですが、影響額は概ね軽微なものにとどまると認識しております。

- ③ 決算短信を見る限り当社はオートオークション脱却を掲げながらこれに逆行する経営戦略をとっていると思われる。経営的には高年式車の買取にシフトしていき、オートオークションで鞆取りをするという以外に生き残り戦略はないと思われ、固定費の高いカートレットは将来的にゼロにしていく必要があるのではないかと。

（回答）

貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございます。オートオークション脱却を掲げながらこれに逆行する経営戦略をとっていないかとの点につきまして、当社では過去からオートオークションに依拠したビジネスモデルからの脱却を経営戦略に掲げており、その取組み

を続ける中でオートオークションへの販売率は下がって来ております。

当社としましては、高い利益が見込める「買取直販」のビジネスモデルへの原点回帰を更に強化し、オートオークション依存体質を脱する取り組みを今後も推し進めてまいります。

- ④ クルマフリマの登録台数は0台との事だが、リソースの無駄なので撤退すべきではないか。

(回答)

登録台数が0台となっていることに対する厳しいご意見につきましては、真摯に受け止めさせていただきます。クルマフリマは展開を始めたばかりでサービス認知度の問題もあり、登録台数を増やすためにはさらなるノウハウの蓄積や仕組みのテコ入れが必要と考えております。将来的に個人間売買のニーズは高まっていくものと考えており、また、クルマフリマに出品した車両がカーチスでの買取販売につながることもあり、お客様との接点を維持するためにも事業自体は維持していく予定です。

- ⑤ 2022年3月期の業績予想が2億8000万円の当期純利益を計上となっているが、それなのに、会計上の繰延税金資産の回収可能性がないと判断しているのはなぜなのか。会計監査人のいいなりになっているのではないかと思うが、会社が繰延税金資産の回収可能性なしと判断した根拠を説明してもらいたい。

(回答)

将来の収益性とそれらに基づく将来の課税所得は必ずしも一致しませんが、想定されている一時差異の変化なども踏まえ、会計監査人と協議の上、顧問税理士等とも検討して適切に判断をさせていただいております。これ以上の回答は会計論にわたるものとなりますので、説明を控えさせていただきます。

- ⑥ 昨年度までの中期経営計画に係る事業を総括し、目標値の具体的達成率と理由及び所感を述べられたい。また、今年度からは中期計画を策定しているのか、策定・公表がないのであればその理由も教えてもらいたい。

(回答)

昨年度までの中期経営計画の達成状況や理由の分析については、本日の株主総会後の取締役会で総括する予定ですので、この場での発表は差し控えます。今年度からの中期経営計画については作成中であり、本日の株主総会で選任された新役員体制下で議論し、その結果を踏まえて公表させて頂く予定です。経営陣一同、企業価値のさらなる向上のため、中期経営計画で策定された目標の達成に向けて邁進してまいりたいと存じます。

- ⑦ 昨年取締役就任したが途中で辞任した渡辺氏は、どのような業績を残したのか。辞任理由は公表済だが、後任者の方は渡辺氏の業務遂行上の方針を継承するのか、何らかの変化を加えていくものなのか。また、新任の取締役候補者となっている大屋氏の抱負を述べてもらいたい。

(回答)

渡辺氏は子会社である株式会社カーチスの代表取締役としてコロナ禍における経営基盤強化に努めて頂きました。株式会社カーチスの代表取締役の後任には山田氏が就任しており、渡辺氏の方針を継承しつつ顧客売上を中心とした売上増に努めております。

大屋氏につきましては、本総会終了後にご紹介させていただきます。

- ⑧ ここ数年間の構造改革で復配に至ったことに敬意を表したい。今後も収益率の上昇が見込まれると思うが、次年度以降の配当性向の目安を伺いたい。

(回答)

当社では一定水準の配当性向をあらかじめ定めているわけではございません。次回の配当の有無及び額については、株主の皆様に対する利益還元を重視しつつ、将来の事業展開と経営体質の強化のための内部留保を確保し、安定的かつ適正な利益還元を行う観点から決定させて頂いております。次回の配当に関する事実が決定しましたら速やかに開示させて頂きます。

- ⑨ 現行の株主限定クーポンは使い勝手が良くないと感じる。株主総数に対しての株主限定クーポンの利用人数はどうなっているのか。また、今後の株主優待制度について社内で検討しているのか教えてもらいたい。

(回答)

株主限定クーポンに関する貴重なご意見をありがとうございます。株主優待券の利用人数は一定数のご利用がある状況ですが、詳細の人数までは回答を差し控えたく存じます。今後の株主優待制度のあり方に関しましては社内で検討中です。

以上